

『シンデレラマン』 原題 CINDERELLA MAN 2005



© Buena Vista Home Entertainment, Inc.

映画批評

『シンデレラマン』

～米国のボクシング文化を知る

塚田三千代（翻訳家・映画アナリスト）

2005 ©m.tsukada.

映画の前半はつぎの視点 ① ファイトマネー契約無効のボクサーと家族の愛と絆 ②家財を売り払って金を工面し、ブラドックの復帰に賭けるマネージャーの夢と友情 ③鋭敏な眼識のボクシング興行者、という3つの視点で構成される。

映画の前半で描かれるのは、家族愛、友愛、ビジネス根性、プロ根性、後半を占めるリング上のスポーツマンシップや試合実況をするスポーツアナの熱弁など、どれひとつ見逃せない場面が連続する。感動の連続である、

後半は伝説的な大試合(実話)が主軸となる。注目すべきはマックス・ベア対ジェームズ・J. ブラドック(Max Baer vs. James J. Braddock)の世界チャンピオン・タイトルマッチ。これは N.Y.

マジソン・スクエア・ガーデンで行われたが、スタジアムの35000席は観客で満席になったと伝えられている。

映画のセリフ (Movie lines)

- ・ You are the champion of my heart.
- ・ You can't without me behind you.
- ・ I have to believe that when things are bad I can change them.

映画のメッセージ (message)

Never give up hope; it's easier to win when you know what you are fighting for.

【映画情報】

CAST & STAFF

Jim Braddock Russell Crowe (ラッセル・クロウ)
Mae Braddock Renee Zellweger (レネー・ゼルヴィガー)
Joe Gould Paul Giamatti (ポール・ジアマッティ)
Jay Braddock Connor Price (コナー・プライス)
Rosemarie Braddock ... Ariel Wallertti (アリエル・ウォーラー)
Max Baer Craig Bierko (クレイク・ビアーコ)
Jimmy Johnston Bruce McGill (ブルース・マッギル)
Directed by Ron Howard (ロン・ハワード監督)
脚本 (クリフ・ホリングワース & アキヴァ・ゴールズマン)
